

自動車整備科、一級自動車工学科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科、国際自動車整備科

| 時期 | 2年A巡 | 単元 | 実習 | 教科名 | 大型車整備1 | |
|-----|--------------|-------------|-----------|------|-----------|--|
| 科目 | 自動車整備作業・測定作業 | 教科書等 持参品 | 三級ジーゼル自動車 | 発行日 | 2025年2月8日 | |
| | | | 二級ジーゼル自動車 | | | |
| 総時限 | 33時限 (52時間) | | 二級自動車シャシ | 教科担当 | 教科担当 | |

1. 実務経験のある教員による授業科目

該当

非該当

自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの分解・組立・点検等について指導する。

2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)

1. ジーゼルエンジン本体の分解組み立て方法を学ぶ
2. 分解を通じてジーゼルエンジンの構造の理解を深める。
3. エンジンの計測、調整作業を学ぶ
4. エアサスペンションの構造、作動を理解を深める。

3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか)

1. エンジンを組立し、始動できるレベルまで仕上げる。
2. エンジン本体の主要部品の説明ができる。
3. シリンダライナの突き出し量の測定ができる。
4. バルブクリアランスの測定・調整ができる。
5. 教科書に記載されている燃料噴射の仕組み、作動が理解できる。
6. エアサスペンションの講師備品の役割、作動について説明できる。

4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)

実技試験70点、行動評価15点、レポート評価15点の合計点で評価する。

一級自動車工学科は70点以上で合格とする。

自動車整備科は60点以上で合格とする。

自動車整備・ボディリペア科は60点以上で合格とする。

自動車整備・カスタマイズ科は60点以上で合格とする。

5. 準備学習

二級自動車ジーゼルエンジン、三級ジーゼルエンジン、二級シャシの教科書を事前に読み予習を行う。

2025年度

授業計画

自動車整備科、一級自動車工学科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科、国際自動車整備科

| | | | | | |
|----|------|----|----|-----|--------|
| 時期 | 2年A巡 | 単元 | 実習 | 教科名 | 大型車整備1 |
|----|------|----|----|-----|--------|

7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

| 番号 | 作業名 | 遵守事項 | 災害事例 | チェック |
|----|---|--|---|------|
| | 分解作業 バッテリーのマイナスを外す シリンダヘッド取り外し オイルストレーナを取り外す 組付け作業 ピストン組付け | 整備作業を行う時は、バッテリーのマイナス(アース)ケーブルを必ず外す。 シリンダヘッドボルトを緩める時は、外から内に緩める。締め付けトルクが大きいのでメカニックグローブ着用とレンチは押さずに引いて緩める。 シリンダヘッドが大変重いので必ず3人で持つようにする。(腰を痛める可能性がある) めがねレンチ使用禁止(ブロック下面で手を切る可能性がある) ピストンリングコンプレッサー鋼部で手を切らないようレンチで緩める | ショートによる火花での火災予防 手を滑らせ手にシリンダヘッドを打ち付けて怪我をした。 | |

8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

| | |
|-----|------|
| 実習場 | 座学教室 |
| | |